



資料2

2011 国際森林年のねらい

平成22年12月16日 第1回国際森林年国内委員会



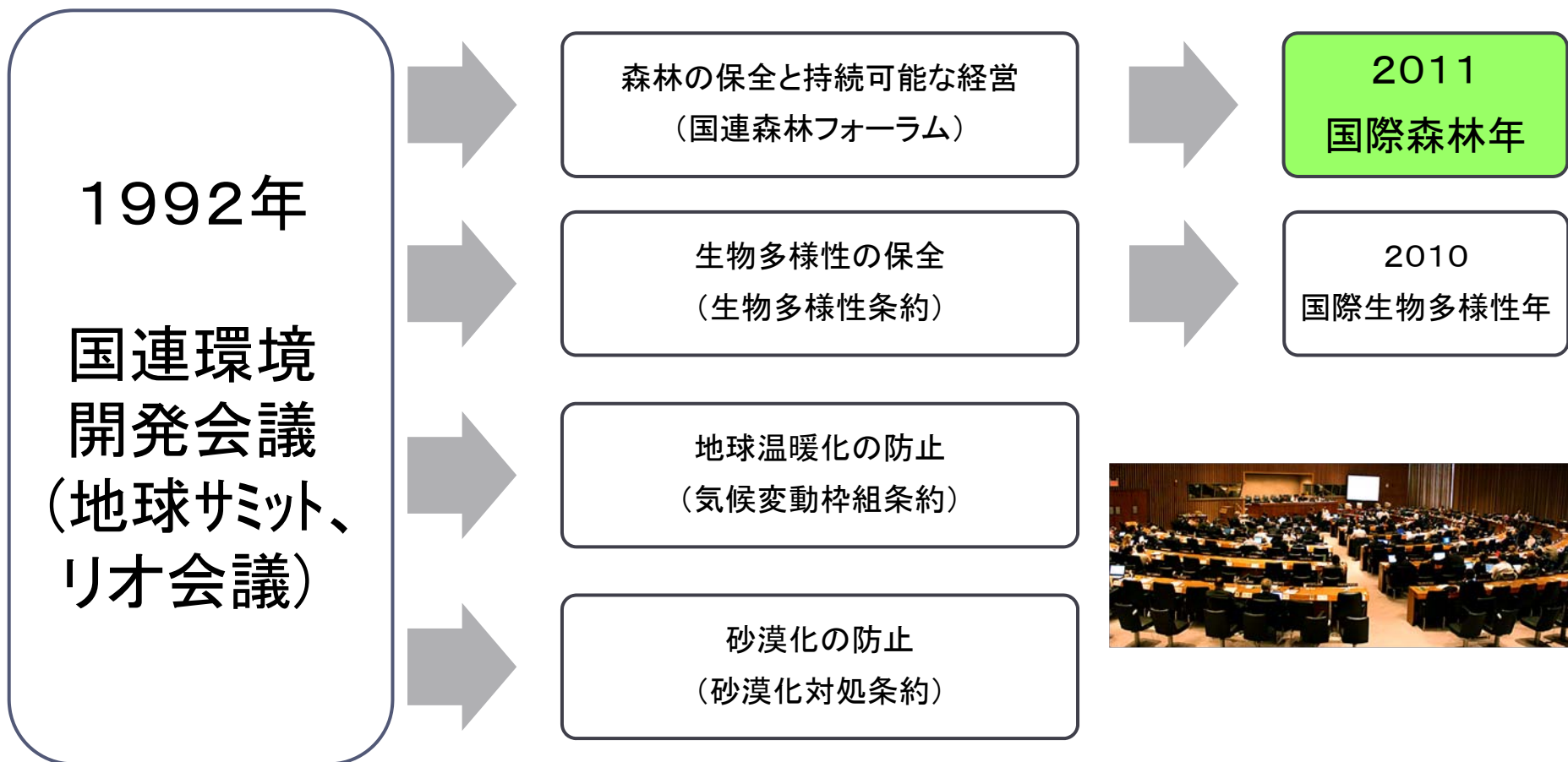
目次

1. 国際森林年の国際的位置づけ	
(1) 国際森林年の位置づけ	3
(2) 2011 国際森林年の実施	4
(3) 国連関係の主な予定	5
(4) 国際森林年のロゴマーク	6
2. 我が国における国際森林年	
(1) 国内における「国際森林年」の活動戦略	7
(2) 国際森林年の推進体制	8
(3) 国内委員会の機能と役割	9
(4) 重点的に進めていくこと(たたき台)	11
(5) プロジェクトシート	14
(6) 国際森林年推進事業	16
(7) 国際森林年における取組スケジュール	17



国際森林年の位置づけ

- ▶ 国際森林年は、国連のもとで行われる活動。





2011 国際森林年の実施

1992年の地球サミット・リオ会議において「森林の保全と持続可能な経営」の重要性を指摘

2006年12月の国連総会において、2011年を国際森林年にすることを正式決定

森林に対する世界の市民の理解と参加が目的

国連事務局直属の国連森林フォーラム（UNFF、ニューヨーク）事務局が実施の中心

世界的行事として、植樹、森林祭、会議、写真等の展示、森林におけるスポーツ行事や出版物等の活動を展開予定



国連関係の主な予定

国際生物多様性年と国際森林年との
ブリッジングセレモニー
(2010年12月18日、石川県金沢市)



国際森林年のキックオフ(国際森林映画祭の授賞式等)
(2011年2月2~3日のUNFF9閣僚級会合、米国ニューヨーク)



第66回国連総会(2011年9月開催、米国ニューヨーク)
国際森林年クロージングセレモニー(時期、場所等未定)



国際森林年のロゴマーク

- ▶ 「Forests for People (人々のための森林)」というテーマを伝えるもの。
- ▶ 世界の森林の持続可能な経営、保全等における人間の中心的役割を称える。
- ▶ 人々の居住環境や食料・水等の供給、生物多様性保全、気候変動緩和といった森林の多面的機能が人類の生存に欠かせないものであることを訴えるデザイン。



**INTERNATIONAL YEAR
OF FORESTS • 2011**

国内における「国際森林年」の活動戦略案

- ▶ 豊かな森林を守り育てていくこと、またそのために国民一人一人が具体的に行動することが重要であることへの理解を深め、我が国の林業を再生し、美しい森林づくりを推進するはずみになるよう、全国各地でのイベントも活用しながら効果的な取組を展開する。
- ▶ 我が国としてのテーマを早急に設定することが必要。



植樹祭・育樹祭



美しい森林づくり



木づかい運動



途上国支援



国際森林年の推進体制

国際森林年国内委員会

- ・ 各界の有識者にメンバーとなってもらい、国際森林年の進め方などについてご意見をうかがう。

フォレスト・サポーターズ

- ・ 「美しい森林づくり推進国民運動」の「フォレスト・サポーターズ(企業、NPO、個人等)」が「国際森林年」の活動に参加して頂く方策を検討。
- ・ その一つとして、フォレスト・サポーターズはオンラインで国際森林年のロゴマークを入手できる仕組みを構築。

事務局

- ・ 国内委員会を運営し、国内委員会の議論に基づいて国際森林年推進事業を実施する。



国際森林年国内委員会の機能と役割

国連総会決議の要請に応じて国内委員会を立ち上げ、2011年末まで3～4回開催。

委員会では、「国際森林年記念会議」を含めた国内での普及の方針と国連への報告内容等を討議。

特に、各委員の専門的知見を活かし「重点的に進めていくこと」及び「プロジェクトシート」について意見を伺いたい。

また、現場での実践的な取組を普及させる方策や、国際森林年以降も国民運動を発展させる方策もご討議頂きたい。



国内委員会の開催予定（案）

2010年 12月

- 第1回国内委員会(12月16日)ーテーマの設定
- 国際生物多様性年クロージングイベント・国際森林年ブリッジングセレモニー(12/18)

2011年 1月～6月

- UNFF9閣僚級会合・国際森林年キックオフ(2/2～3)
- 第2回国内委員会(各種国際森林年記念行事との連携や現地検討会も検討)

7～12月

- (第3回国内委員会)
- 第66回国連総会
- 国際森林年記念会議
- 第4回(最終回)国内委員会

重点的に進めていくこと（たたき台）①



【世界のために】

- ▶ REDD+ (Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation in Developing Countries) の推進
 - ▶ 支援策を充実させるとともに、途上国関係者に対して説明・PRを行うことはできないか。
- ▶ 海外植林活動に対する支援
 - ▶ 支援策を検討するとともに、活躍しているNPOの状況についてのシンポジウムなどができないか。
- ▶ 国際交流の推進
 - ▶ 行政関係者のための国際会議、研究推進のための国際会議、NPO・海外協力関係者、林業者・木材産業の交流を実施できないか。

重点的に進めていくこと（たたき台）②



【日本の次世代のために】

- ▶ 森林・林業再生プランの推進
 - ▶ 2011年を、森林・林業再生プランの実施元年として弾みをつけられないか。
- ▶ 森林を守る活動をしている人々を支援
 - ▶ 緑の少年団、森林ボランティアなどの活動について顕彰・広く紹介・PRなどができないか。
 - ▶ 森林を所有し、森林保全活動をしている企業についても同様。
- ▶ 水を造るという観点から森林の保全を進めることを支援
 - ▶ ミネラルウォーターを販売や水道事業を通じて森林を保全している企業等を顕彰・紹介・PRするとともに交流するイベントなどができないか。

重点的に進めていくこと（たたき台） ③



【日本の次世代のために】

▶ 森と海のコラボレーションの推進

- ▶ 豊かな海を創る観点から森の保全を進めている団体などを顕彰・紹介・PRするとともに交流を進めるイベントができないか。

▶ 森を守り生物多様性を守る活動をしている人々を支援

- ▶ 森に手を入れ、生物多様性を守る活動をしている人々を前年の生物多様性年に引き続き支援できないか。

▶ 地元で里山を保全し、農地を守っている人々を支援

- ▶ 山村で持続可能な農林業に取り組んでいる人々への理解を深めることができないか。

▶ 森林・木材の知識の普及

- ▶ 森林・木材の知識を広く普及するための取組みをできないか。



プロジェクトシート①

▶ 国民へ訴求する方法として以下のことを検討中。

森を語る新聞広告

- ・ 国際森林年を契機に企業や行政で活躍している方々の取組みについて、対談形式の新聞全面広告を行う。協賛する企業の取組として実施することを検討。

森を語るテレビ番組

- ・ BSなどで毎週著名人(歌手・財界人など様々)が森に関することを語ってもらう。司会には森に造詣のある芸能人を起用する。
- ・ これに加えて企業での取組の紹介なども行う。

各種学会の国際森林年記念大会

- ・ 森林関係だけでなく、幅広い学会において、国際森林年や森林をテーマとしてもらい、大会開催に際しての協力を行う。



プロジェクトシート②

森林写真コンテスト

- ・各種写真コンテストなどにおいて、2011年のテーマを森林にしてもらおう働きかける。(文芸賞なども依頼してみる)

水を創る人々協議会シンポジウム

- ・ミネラルウォーター、水道水など、森を守りつつ自らの販売する水だけでなく多くの用途に使われる水を創っている企業などを顕彰・PRするシンポジウムを開催できないか。

環境関係フォーラムとの連携

- ・食・環境・地域づくりをテーマとしている行事との連携を進め、森林保全を進める観点からの協力を行う。

関連商品やキャンペーンによる消費者行動の促進

- ・国際森林年のロゴマークやテーマに沿った商品開発や販促キャンペーンにより、消費者行動に結びつけられないか。



国際森林年推進事業（要求中）

- ▶ 平成23年度予算について、「国際森林年推進事業」（新規）を概算要求中。
- ▶ 国際森林年という機会を捉えて普及活動を展開し、我が国における豊かな森林の維持、途上国の森林保全等に対する国民の理解を促す。

国際森林年国内
委員会の運営

国際森林年
普及事業の実施

国際森林年
記念会議の開催

国際森林年における取組スケジュール

